

## 3 - 5 . 都市景観

### 3 - 5 - 1 . 現状と課題

これまでのまちづくりは機能性や効率性を重点にまちが形成されてきた。

しかし、人々の生活にゆとりができ自由時間が増大する中で、個人の価値観が多様化するとともに、一人ひとりが暮らしにうるおいを求める傾向が強くなってきている。まちづくりにおいても、機能性や効率性のみならず景観という視点を取り入れることが求められている。すでに景観向上に対して商店街やまちづくり協議会においては、取り組みが進められており、区民等の関心が高まっていることがうかがえる。

#### (1) 多彩な顔をもつ街なみ

品川区は、旧東海道の最初の宿場という歴史、目黒川や立会川などの水資源、荏原台地を擁する一方、東京湾に面して広大な水域と豊富な緑に囲まれた臨海部等、様々な魅力ある資源をもったまちである。

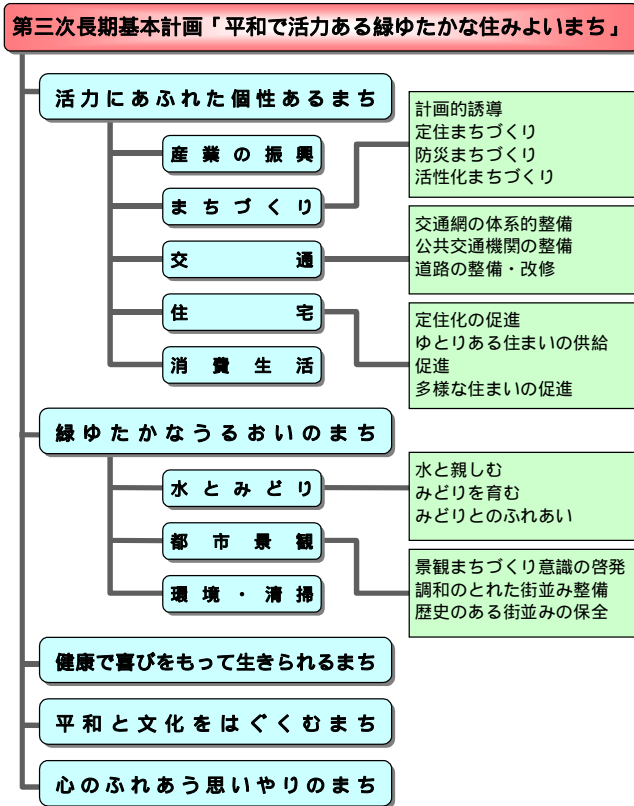
旧東海道沿いの由緒ある寺社の数々や、古くは武家屋敷であった閑静な住宅街、かつては京浜工業地帯の中核を担い現在はその土地利用を大きく変えようとしている大崎周辺や、天王洲アイルに代表される工場や倉庫が集積していた地区、庶民的で活気あふれる荏原台地を中心とした密集地区など、実に多彩な顔を見ることができる。

#### (2) 多様な地域特性の活用と品川らしさの創出

歴史や文化ならびに地理上の要因等の違いにより、地域毎に特質のある様相を呈している。これらの地域特性を生かした景観形成が求められている。

今後は、利便性や機能性に優れているだけではなく、地域の個性を活かし、快適でうるおいのある区民にとって愛着の感じられるまちづくりを進めていくことが重要である。そのため、品川区における都市景観形成の理念や目標を明らかにするとともに、景観向上に向けて国や都との連携の仕組みを確立し、区としての施策を体系化し区民や事業者の主体的な活動を促すとともに、多様な地域特性を活かした景観づくりを行うことが課題である。

### 3 - 5 - 2 . 整備方針



#### 市街地整備基本方針における位置づけ

魅力ある都市景観が求められる中、区民や事業者に対する景観まちづくり意識の啓発や、調和のとれた街並みの整備、歴史ある街並みの保全について、今後の取り組み方針を明らかにする。

## (1) 景観まちづくり意識の啓発

### 1) 景観ガイドプランの作成

区民や事業者による自主的な取り組みや、区の実施する事業等で景観に関するもの及び民間建築物や再開発等に対する適切な指導、誘導を行っていくため、具体的で分かりやすい手引き書として、都市景観ガイドプランを作成する。

### 2) 景観ガイドマップ等による普及・促進

区内の優れた景観を広く区民に普及していくため、まち歩きイベントや景観マップづくり等を通じて、品川区の特質と良さを知ってもらい、区民とともにまちの魅力を再発見する。

### 3) 優れた景観の位置づけと顕彰

日常的な生活空間においても、規模や象徴性の面からはつつい見落としがちであるが、地域レベルで見ると重要な景観資源も多い。

このような小規模ながらも優れた景観の創出を促進するため、大規模な景観資源と併せて景観指定等を行うとともに、景観向上に主体的に取り組む住民活動等に対して顕彰を行うなど、優れた都市景観形成のための施策を促進する。

### 4) 良好な景観の保全対策

優れた景観資源に対しては適正な保全対策を実施して、身近なものとして守り育てていく等の配慮を行う。

## (2) 調和のとれた街並み整備

### 1) 都市景観に配慮した魅力ある公共建築物等の整備

区民や来訪者がゆとりや潤いを実感できる街並み形成に向けて、道路やその並木ならびに公共建築物や施設等の整備にあたっては、地域の景観形成に対する影響も大きいいため、地域特性や周辺環境への配慮を十分に行い、地域の景観形成の先導的役割を担っていく。

### 2) 親しみのある地域景観の整備

親しみのある景観づくりには、「自分達の町の景観は自分達の手で」という観点から景観づくりに対し積極的な住民参加が必要である。

愛着の持てるまちづくりの一環として、ともすれば無味乾燥となりがちな鉄道高架下や構造物の壁面等について美化を図るとともに、常日頃親しんでいる街角や歩行空間において、地域の情報や景観情報を記載したシンプルで美しい案内サインを整備していく。

### 3) 自主的な景観まちづくりの支援・誘導

区民や事業者が実施するまちづくりについても、区を全体から見てその地域にマッチしかつ隣接地域との調和をはかりつつ整備を進めていくために、適切な指導や誘導を行

う。

既存の「緑化顕彰制」や「まちづくり推進要綱」等を活用し実施者の意識と理解の高揚を図るとともに自主的な活動を支援し誘導する。

#### 4) 屋外広告物の規制

都市景観ガイドプラン等で地域における屋外広告物の形態や色彩のあり方等について、規定や誘導を行う。

また、あわせて歩行空間にはみ出したものや路上に置かれて歩行者の障害となりかつ景観を阻害している屋外広告物等についても、その適正なあり方等について設置者の理解を深め適切に指導、誘導をしていく。

#### 5) 架空線の地中化

豊かさと先進性を感じられる街並みと景観形成のため、通信インフラ整備と合わせて道路空間における電線類の地中化等を促進する。

また、防災上重要性の高い道路等についても地中化を促進する。このため、関連する国や都との調整とあわせて、電線管理者との調整を行うとともに区民の理解を醸成しつつ安全で美しい都市空間づくりに努める。

#### 6) 民間建築物の誘導

一定規模以上の民間建築物等については、緑化条例や開発指導等により、周辺環境と調和した魅力ある街並みに配慮するよう誘導していく。併せて、使用する色彩等についても周辺との調和をはかる等景観の向上について配慮するように誘導していく。

#### 7) 道路および沿道、河川の景観の確保と向上

緑化条例や開発指導等による民間建築物の建築指導とあわせて、幹線道路等においても街路樹等の効果的な配置を行い、沿道建築物等周辺市街地の景観との一体性を保ちつつ道路の景観を整備し沿道空間のアメニティ性を向上させるよう努める。

また、水とみどりの資源を活かしつつシンボル性と一体性を創出するため、立会川や目黒川沿川の緑道等についても、水際の特性を活かした景観の整備を図る。

#### 8) 景観に配慮した公共サインの整備

区民や来訪者に対して特定施設等への案内を円滑化するとともに、街そのものをわかりやすく快適な空間とするために、「品川区街のサイン基本マニュアル」に基づき、景観に配慮したデザインと機能性を兼ね備えた公共サインの整備を行う。

### (3) 歴史ある街並みの保全

#### 1) 戸越公園周辺の整備

戸越公園及び周辺文化施設等の整備については、既に公園の歴史に配慮して武家屋敷を連想する景観整備を実施してきた。

今後とも、本公園の周辺については、情緒豊かなまちづくりと統一性を図る観点から歴史的な景観形成を促進する。

#### 2) 旧東海道品川宿周辺の整備

旧東海道周辺については、地元の商店や区民の理解を深め、地域の活性化のため都市景観に配慮する意識を育てるよう誘導しながら、整備を促進する。

上記以外のものについても、歴史ある街並みの保存や発掘に努め、適切な情報提供や歴史的資源保全のための手段を講じていく。

### 景観資源の分布

点としての景観要素	
歴史的建造物、高層建築、塔	
1	清泉女子大学(旧島津侯爵邸)
2	日本酸素記念館と庭園
3	大崎ニューシティ、ゲートシティ大崎
4	星薬科大学の講堂
5	大森ベルポート
繁華街の十字路、広場、橋詰広場	
大木など独立樹、象徴的な山頂、島、岬	
6	稼穡稲荷のイチョウ
7	仙台坂団地のタブノキ
8	中延小学校の大楠
9	光福寺の大イチョウ
その他のランドマークとなるもの	
10	船の科学館
11	大井ふ頭コンテナパース
12	鈴ヶ森刑場跡と大経寺
13	大井競馬場(トウインクルレース)
14	八潮橋
15	品川歴史館
16	大森貝塚遺跡庭園
線としての景観要素	
道路・沿道の街並み(旧宿場町の景観など)	
17	旧東海道品川宿(由緒ある寺々)
18	武蔵小山バルム商店街
19	戸越銀座商店街
20	中延商店街
美しい並木道	
21	品川小学校の桜並木
22	花房山の桜並木
23	五反田公園の石畳と桜並木
24	目黒川沿いの桜並木
25	かむる坂の桜並木
26	エンジュの並木のゼームス坂通り
27	西小山桜並木通り(立会川)
28	立会川緑道
29	桜新道の桜並木
良好な河川、河岸、海岸	
30	北品川、東品川の船だまり
31	天王洲アイルのボードウォーク
32	潮風公園
33	東品川海上公園
34	京浜運河緑道公園(八潮)
35	なぎさの森(中央海浜公園)

面としての景観要素	
界限(繁華街、寺町、武家屋敷などのまちのまとまり)	
36	北品川の古い民家の家並み
37	天王洲アイルの街並み
38	芝増上寺寺院群
39	旧中原街道供養塔群
40	八潮団地
41	大井町駅周辺の新しい街並み
42	西大井町駅とその周辺
寺社の境内などの樹林(鎮守の森)、丘陵など	
43	聖跡公園(本陣跡)
44	荏原神社と鎮守橋
45	品川神社
46	子供の森公園(怪獣公園)
47	海徳寺(花の寺)
48	御殿山ヒルズの緑と原美術館
49	池田山公園(旧池田家下屋敷)
50	林試の森公園
51	品川寺
52	しながわ区民公園と水族館
53	鹿島神社
54	養玉院
55	小山八幡神社
56	旗ヶ岡八幡神社
57	戸越八幡神社
58	戸越公園(旧細川家下屋敷)と国文学研究資料館の緑
特徴のある風景・街並みの集落	
眺望としての景観要素	
見晴らしの良い山頂などの見晴らしポイント	
59	新八ツ山橋から(品川教会方面を望む)
60	船の科学館から(タンカー、貨物船、夕日)
61	みなとが丘ふ頭公園から(東京湾が一望)
62	かもめ橋から(京浜運河を望む)

